

D2660

東大阪東ロータリークラブ

Rotary



HIGASHI-OSAKA EAST ROTARY CLUB

Club Weekly Report 2018-10-4 No.2581



創立：昭和40(1965)年3月4日

『職業を語り、誇りを持ってロータリーをエンジョイしよう』

例会場：ホテルセイリュウ 例会：毎週木曜日 12:30～ HP：<http://www.higashiosaka-eastrc.jp>

会長：水上 雅博 / 幹事：藤本 良男 / 会報資料担当：田原 さおり

今日の例会

- 本日の卓話
米山月間に因んで
北川 忠嗣米山奨学担当
米山奨学生
グエン ミン トゥーさん
- 今日の歌
「君が代」
「四つのテスト」
ピアノ 岩島 佳子 先生
- 例会後 10 月度定例理事会

来週の例会予定

- 10月11日(木)
卓話 梶本 高久 君

10月は
経済と地域社会の発展月間
米山月間

先週の出席報告(9/20)

先週(9/27) 休会
(9/20)の出席者数：38名(2)
ゲスト1名：国際ロータリー第2660地区
ガバナー 山本 博史 様
ビジター2名：地区代表幹事
宮里 唯子様(茨木西RC)
地区幹事 市村 優次様(東大阪RC)
9/20 出席率：73.08%
※()内数字は出席免除会員の出席者数
会員：64名(免除14名)

	9/10	9/13	9/20
HC 出席	24(1)名	31(2)名	38(2)名
MU 出席	13(1)名	7(0)名	4(0)名
修正出席率	71.15%	73.08%	80.77%

会長の時間

水上会長(9/20分)

本日は、東大阪東ロータリーに、2660地区の山本博史ガバナーをお迎えいたしております。つまり、ガバナー公式訪問の日です。東大阪東ロータリーを、御指導いただく重要な時間です。実は、例会前の11時30分より、ロータリー事務所にて、私、藤本幹事、大橋会長エレクト、斉藤副会長、石田青少年奉仕委員長の5名が、御指導をいただきました。皆さんにお伝えしませんでした、少し内容についてご報告致したいと思っております。

まず、クラブの運営については、会員の増強・確保について、いろいろな考え方、方法があるということをお教えいただきました。

- ①「衛生クラブ」についての作り方、考え方、取り組み方。
 - ②米山奨学生または、ローターアクトの囲い込みの取り組み方・メンバーでロータリークラブを作っていく方法。
 - ③35才以下の会員や、食事なしのロータリアンの会費を安くして取り込んでいく方法。
- 等々、解り易く教えていただきました。

次にライラについて話し合いましたが、東大阪東ロータリーの本拠地ホテルセイリュウにて行うこととなりますが、山本ガバナーから、現状では初級ライラだけ続けており、上級ライラは現在行われていないので、上級・初級をまとめて行うという選択肢もありますとのことでした。とにかく、いろいろ話し合っているうちに、あっという間に過ぎてしまいました。

話は変わって、私達クラブのIMが行われ、4班に別れているIMが、すべて終了致しました。私は、4班中3班に出席させて頂きました。今回のIMは、「題目なし」のフリーな話し合いでした。会員の皆さんが自由にかつ又、日頃思っていることをたくさん発言され、とても楽しく有意義なIMでした。私にとっては、今までで一番楽しかったです。その中で、ある方が言っておられた事が印象に残りました。「私達のクラブは創立54年目だが、まだまだいまだに、意見がいっぱい出てくる。すばらしいことだ。改革・改善を常に進めていかねばならない」。

世界のロータリーも変わっていきます。そして我々クラブも変わらなくてはなりません。

“これで良い”と、停滞しては、取り残されてしまいます。時代も、世界も、そして人も変わっていきます。こんな中で、“正しく”、“有意義に”、“主張をもって”、我々のロータリーを変えていく必要があるのだと思っております。

東大阪東ロータリークラブ事務局

〒579-8012 東大阪市上石切町1-11-12 ホテルセイリュウ 302号室

TEL:072-985-0189 FAX:072-985-0577 E-mail:higashiohrc@air.ocn.ne.jp

山本 博史ガバナー公式訪問卓話



1 はじめに

ロータリーの主役は各クラブであり、また一人一人のロータリアンです。このことに異論はないと思います。しかし、ロータリー活動が全世界的なものである以上、各地区の特性を活かしつつも、皆がロータリーの目的に向かって足並みをそろえる必要があります。国際ロータリー（以下「RI」と略称）はロータリー全体を管理するための組織であり、その管理のために各地区に派遣されているのがガバナーです。この度、貴重な機会をいただきましたので、RIの方針、今RIで議論されていること、そして当地区の方針についてお話をさせていただきます。

2 本年度のRIのテーマと目標

本年度バリー・ラシン会長（以下「ラシン会長」と略称）のテーマは「BE THE INSPIRATION～インスピレーションになろう～」です。インスピレーションという言葉は、ひらめき、思いつきといった意味だけでなく、周りの人々に生気を与える、息吹きを吹き込むという意味があります。

ラシン会長は本年6月のトロント国際大会のスピーチで「私達は手を取り合います。なぜなら協力すれば一人よりもずっと強くなれると知っているからです。私達は行動します。なぜならロータリーは夢想家ではなく、実行する人の集まりだからです。」と語りました。トロント国際大会でよく見かけた三つの標語「TRANSFORM…変えていこう」「PEOPLE OF ACTION…世界を変える行動人」「CONNECT…ちからをつなごう」は、このラシン会長のスピーチのエッセンスです。

この「インスピレーションになろう」というテーマはラシン会長の独創ではありません。ロータリーの根幹ともいべき「ロータリーの目的」（RI定款第4条、標準ロータリークラブ定款第5条参照）を踏まえ、RIが2010年に策定したロータリー戦略計画の「ロータリーの使命」や「中核的価値観（コア・バリュー）」、そしてRI理事会が2017年7月に策定した「ロータリーのビジョン：私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指しています。」等、これまで積み重ねてきたものの実践を働きかけるものです。

ラシン会長は、本年度のテーマを実現するため、「クラブのサポートと強化」「人道的奉仕の重点化と増加」「公共イメージと認知度の向上」という三つの優先項目を具体化する11の目標を打ち出しました。また、目標として掲げられていませんが、ラシン会長はトロント国際大会の閉会式のスピーチでローターアクトを重要視し、その数の倍増を求めました。もっとも、このローターアクトについては、海外と日本とでは、RACのおかれる状況が異なることもあり、当地区の実情にあったRACのあり方を検討し、提案するに留めるつもりです。

RIが今後目指す方向については、①ポリオ撲滅の早期実現、②会員増強と会員の高齢化ストップ、③ロータリー財団の拡大、④公共イメージと認知度の向上、⑤ポリオ撲滅後のテーマの模索と、より強力なパートナーとの協力関係の構築の5項目がキーワードとなります。この点については、今後もできるかぎり皆様と情報を共有化していきたいと思っております。

3 2660地区のビジョンと本年度の方針

最近のRIの方向性をふまえ、我々2660地区の歴史、価値観、組織風土を大切にしながら各クラブが、そして地区が発展していくよう、片山ガバナー年度、本年4月に以下の地区ビジョンを策定し、また2017-18年度から2021-22年度に適用する地区中期5カ年目標を列挙しています。紙幅の関係上、地区中期5カ年計画は割愛しますが、重要な目標ですので、地区ウェブサイト等では是非ご確認ください。

■私たちが第2660地区はRIテーマを理解し、地域の特性にあった活動をするにより具現化します。

■ロータリーの原点である親睦と職業奉仕を根幹とし、世界及び地域社会で良い変化を生み出します。

■それぞれが「魅力ある・元気ある・個性ある」クラブになる事を目指します。

ラシン会長が掲げるテーマや目標、そして前記2660地区のビジョンを踏まえ、当地区の本年度の方針は以下の10項目です。

①ポリオ撲滅への協力をお願いします。

②ロータリー賞の受賞を目指してください。

③ロータリー財団と米山記念奨学会への協力をお願いします。

④会員基盤を増強してください。

⑤ロータリーのIT化への協力と公共イメージ向上へのチャレンジをお願いします。

⑥戦略計画を活用し、クラブの中長期ビジョンを策定してください。

⑦新IM内の親睦と情報交換を推進してください。

⑧ハンブルク国際大会、地区大会、地区事業への積極的な参加をお願いします。

⑨ロータリーデーにご参加ください

⑩地区のスリム化、効率化、運営の合理化、財務ルールを徹底します。

いずれも行動、実践をともなうものであり、皆様の積極的な活動を期待します。

最後に、当地区のクラブ運営のあり方ですが、2016年の規定審議会で運用ルールが大幅に緩和されたことにより、ネットで例会を行うクラブの名称から「E」という文字が消え、他の一般のクラブと同じ位置づけとなりました。世界では、ロータリアンの自宅やコーヒーストップを例会場とする、ある企業や家族の一員であれば例会に参加できるというクラブも現れています。例会に出席するために長時間の移動が必要、あるいは人の活動範囲が広がり、同時刻に同じ場所に集まることが難しいという人たちもいます。他方、ジェネレーションギャップとでも言うべき現象も起こっています。聞くところによると、ある新しいクラブの若い会員が、東京RCの帝国

ホテルでの例会に短パンでメイクアップに来たということです。この珍事に、大半のロータリアンは常識とTPOの問題だと考えると思いますが、中には、それもダイバーシティだと言う方もいます。日本のロータリーの今後の発展を考えると、他人事として済ませてしまうのではなく、自分達自身の問題として真剣に考え、我々の意見をはっきりと述べていく必要があるのではないのでしょうか。

末尾になりましたが、会員皆様の益々のご発展とご健勝をお祈りし、ガバナースピーチとさせていただきます。ご静聴ありがとうございました。

幹事報告

藤本幹事

先般の秋のRYLAセミナーにご参加の皆様、大変お疲れ様でした。

《これからの予定》

- 【1】 本日、例会後、10月度定例理事会・19:30よりオ・セイリュウにてチームライラとの打ち合わせ会
- 【2】 10/11 (木) 例会
- 【3】 10/13 (土) 地区公共イメージ向上セミナー
(水上会長、井戸田広報委員長、戸田副幹事出席)

＜連絡事項＞

- 【1】 9月27日(木) 第1回指名委員会を開催致しました。
- 【2】 10月25日(木) は友人紹介例会です。場所はオ・セイリュウにて夜間移動例会です。ご友人をお誘い合わせの上、多数のご参加をお願い致します。

委員会報告

◎R財団委員会 古川委員長
この度、島 会員にポール・ハリス・ソサエティーにご協力いただきました。有難うございました。10月のロータリーレートは112円です。
よろしくお願ひ致します。

◎青少年奉仕委員会 米山奨学担当 北川会員
この度、奥林会員にマルチプル7回目、大橋会員にマルチプル5回目、吉川会員・藤本会員にマルチプル2回目にご協力いただきました。有難うございました。
引き続き皆様のご協力をよろしくお願ひ致します。

俳句同好会 輪の会便り

溝畑 正信

先日、蔵王山に登り、下山後、仙台・作並温泉に行った。宿「一の坊」には、「広瀬川源流露天風呂」「鹿のぞきの寝湯」「自然風呂」等3つの源泉と8つの風呂があって、そこに正岡子規の句「夏山に廊下づたいの温泉かな」が掲げられていた。

正岡子規は慶応3年(1867年)に、伊予松山藩の武

士の子として生まれた。夏目漱石、幸田露伴、尾崎紅葉も子規と同じ年に生まれている。慶応3年の翌年が明治元年である。

あたたかな雨が降るなり枯葎(むぐら) 子規
「暖か」(春)の句。葎は路傍に茂る蔓草の総称。春になったとはいうもののまだ春が浅く、青いものは見えない。しかし、さすがに雨は春らしく、明るく光ってその枯葎にそそいでいる。

この句は、いわゆる季重なりになっている。山本健吉、楠本憲吉はこの句を「枯葎」(冬)の句とし、蕭条とした風景が冬の暖雨を得て生気を取り戻すと解している。
皆さんはどうでしょうか。

2018年9月 ER輪の会俳句 自薦句

春正	枯葉散るベンチに二人老夫婦
精一	山風に露香るとき郡山
太	撫子の河原ベンチに独り居り
侑才	土壁のわらのはしくれ秋暑し
邦夫	残照の大阪平野秋の色
靖明	朝露を弾かせ濡れる掃き掃除
正信	蜻蛉の露の弾けて動きけり
洋子	手のひらに露こぼれみる蛇笏の忌
恵生	来年もと契りて逝きしもみじ狩
安徳	阿呆な事言い放題の夜長かな

ゴルフ同好会便り

第100回東大阪東RCゴルフ同好会秋のコンペ
日時: 2018年10月2日(火)
コース: 飛鳥カンツリー倶楽部

台風一過、晴天の中、奈良・飛鳥カンツリー倶楽部にて第100回ゴルフ同好会記念コンペを開催致しました。100回記念コンペには24名の会員が集まり、老若男女腕を競い合い、楽しい親睦を図ることが出来ました。新入会員の城戸 総一郎さんが初優勝をしました。12月には第101回年末忘年コンペを開催致します。開催日時が決定次第皆様にご案内させていただきます。



第1回IM情報集会 第3班報告

日時:2018年9月18日(火)PM6:30~

場所:シェラトン都ホテル大阪B1F『操舵(あやかじ)』

出席者:天野正亮 吉崎広江 広田 甫 井戸田精一
浅浦哲夫 水上雅博 藤本良男 岡田耕治
第3班 リーダー 古川靖明
サブリーダー 田原さおり

水上会長の挨拶に始まり、岡田会員、古川リーダーの順にテーマを決めない、フリートークで盛り上がった。

テーマがないお蔭で、それぞれ自由な発想で意見交換ができたのではないかと思う。

以下に匿名、順不同で意見をまとめる。

- ・若い会員が沢山参加してくれた。色々話せて良かった。もっとこういう場(接点)があればいいなと思う
- ・テーマに縛られないフリートーク形式が良かった
- ・ここしばらく、テーマを決めてレポートを出して…と固かったかも
- ・テーマが無い、というよりも、その場でテーマを作っていく会にしたい
- ・良いクラブとは??他クラブとの違いは??
 - ・SAAがプログラムを兼任
 - ・卓話は2人ずつ
 - ・週報のないクラブもある
 - ・海外の例会は集会所、教会、レストランなどが多い
 - ・シェイクハンドタイムが無い(シェイクハンドタイムは鶴見RCより取り入れた)
 - ・シェイクハンドタイム等、他クラブの良いところを取り入れる東大阪東はとても柔軟なクラブだと思う
- ・手に手つないで…の歌について
 - ・見知らぬ者同士が強制的に手をつなぐ
 - ・危機管理的に心配(セクハラとを感じる人がいる)
 - ・自分達の価値観で判断するのではなく、そういう意見もあると認識する事が大事
- ・最近のロータリー
 - ・重鎮のクラブというよりも、フレンドリーなクラブに変化しつつあると思う
 - ・バトンタッチが上手い
 - ・献上と美徳がある
- ・マイロータリーの登録は継続して新入会員にアナウンスしていくべき
- ・重鎮方の発する“若い人”という呼称が気になる
 - ・若い人←ある一定の塊であり、全て同じではない
 - ・人のことは、もっと丁寧に扱うべき
- ・出席率が低い
 - ・親睦活動委員会では出欠をアナウンスしている(出席率が上がった)

まとめ

55年の歴史があるのに、まだまだ改善点がある。そ

して柔軟に改善に取り組み、変化、進化し続けている。東大阪東は素晴らしいクラブだと思う。

友情の1本締めで閉会とした。